

総合科学部長

平井 松午

(ひらいしゅん)

社会を変革する地域人材・グローバル人材
— 総合科学部が目指す人材養成 —



総合科学部では、グローバル化や少子高齢化の進展、社会経済の構造変化、災害などに伴って派生する様々な地域課題や健康問題、環境問題などに取り組んできました。これらの諸課題は一つの原因に起因するものではなく、地域固有の自然環境・社会環境あるいは世界や日本における社会経済情勢の下に、多様な要素・要因が関連し合って生起するものです。それゆえ、それらの課題の理解には、文系・理系を問わず、多角的な視点から総合的に俯瞰できる広い視野と問題発見能力が求められます。総合科学部ではこれまで、そうした総合的な視野を広げるために、学際的な取組や文理融合によるカリキュラムも展開してきました。もちろん、問題解決に際しては専門的な知識やスキルも必要となることから、人文科学・人間科学・社会科学・自然科学などをベースとする所属コースにおいて、専門的な研究スキルや知識を学ぶこととなります。しかし、大学の授業

だけでグローバル化や少子高齢化、環境問題などに対処できるわけはありません。皆さんが積極的に海外や地域社会に足を運び、実際にそうした諸課題と対峙し解決に向けて真摯に取り組むことで、初めて課題の本質を見極めることができるのではないのでしょうか。

総合科学部は平成28年4月に改組を計画していますが、新学部でも地域的・社会的な課題の解決にあたることのできる実践的な能力を有する地域人材・グローバル人材の養成が教育目標です。今後とも、卒業生が地域や社会のイノベーター（変革者）として活躍できる学部を目指していきたいと考えています。

学生の皆さんへのメッセージ

皆さんは、勉学、サークル活動、アルバイト、海外留学や旅行など、大学生活を謳歌されていることかと思いますが、何事にも卒業後の進路を見据えて取り組んでくださ

Q&A
教えて！
平井先生

- 趣味・特技は何ですか？
50歳になってGIS(地理情報システム)というデジタルマッピングを覚え、はまっています。何歳になってもチャレンジ精神は大事かも。
- 行ってみたい場所はどこですか？
子供の頃から地図を眺めるのが好きでした。今はGoogle Earthなどで世界各地を満喫できます。
- 好きな映画、音楽、芸能人、スポーツ選手等は？
地味ですが、元ヤクルトで活躍した同郷(北海道)出身の若松勉選手(監督)。小柄な体格ながらヒットを量産し「小さな大打者」と呼ばれました。

医学部長

苛原 稔

(いらはらみのる)



魅力ある医学部への挑戦

医学部では、新しい時代に適応する組織改編、生涯基盤を身に付ける教育ソフトの整備、世界に羽ばたく意欲を伸ばすグローバル化をキーワードに教育・研究・医療を展開して、個性的で将来を先取りする医療人、国際的に活躍する指導的な医療人、地域医療に積極的に貢献する医療人など、多様な有能な人材を養成する魅力ある医学部に発展するよう挑戦したいと思っています。

なかでも、教育環境の充実是最重要的課題です。ハード面では医学部関連の新築、改築、改修が一段落します。これからはソフト面での充実を図りたいと思います。特に、早期医療体験実習、医療共通教育、ハイレベルな語学教育等など、3学科それぞれに魅力ある先進的なカリキュラムを導入するとともに、高大連携や卒業研修プランなどを明確にして、入学から卒業教育までのシームレスな教育体制を構築したいと思います。同時に、早くから研究マインドを育む基礎・臨床教育を行って、研究志向の人材を育てたいと考えます。

我々が目指す「グローバル化」は、外国人留学生の増加を図るとともに、世界に羽ばたく人材を養成することです。そのために、3学科それぞれにグローバルコースを設置し、短期長期の研究留学や外国での医療研修、さらには外国の資格試験への挑戦などを支援したいと思っています。また、アジア地区に海外拠点を立てて医療面での支援やこれらの国々からの教員研修や留学生の受け入れを促進させ、外国人学生や研究者にとっても魅力ある医学部にしたいと思っています。

学生の皆さんへのメッセージ
コミュニケーション
能力を伸ばそう

医療系学部では、人を相手とする職業に就く以上、コミュニケーション能力や協調性が重要になります。難関の試験に合格した皆さんの学力は心配ないと思いますが、コミュニケーション能力や協調性は様々な経験をしながら自己鍛錬で磨くものです。大学生活では自由は多くなりますが責任も増えま

す、医療の学力については、医学部教員が全力を尽くして皆さんを素晴らしい医療人にするよう接しますが、この鍛錬は自己責任と意思して、素晴らしい医療人を目指して下さい。

Q&A
教えて！
苛原先生

- 行ってみたい場所はどこですか？
欧州鉄道旅行(けっして鉄道ファンではありませんが、欧州は鉄道の旅が素晴らしいです)
- 好きな言葉は何ですか？
道在邈(行くべき道は傍らにある、すなわち夢を実現するためには日々の営みを粛々と進めて行くことのこと)
- 子供の頃になりたかった職業は？
建築設計士(今でもいろいろな建築物を見るが好きです)。

健康長寿を支える 全人的医療を担う医療人の育成



徳島大学歯学部は、昭和51

(1976)年に四国で唯一の歯学部として、国立大学としては全国で8番目に設置され、今年で39年になります。平成19(2007)年には、歯学科に加え、歯科衛生士と社会福祉士の2つの国家資格が取得可能な口腔保健学科を設置し、歯科医学と福祉を融合して学ぶことのできる全国でもユニークな歯学部として発展してまいりました。また、本年より大学院後期博士課程口腔保健学専攻が設置され、教育・研究・臨床の環境が整いました。

徳島大学歯学部は、この間、徳島大学の理念である自主・自立、進取の気風に基づき、地域性と医学・歯学・薬学・栄養学の教育・研究拠点である蔵本地区に位置する利点を活かし、地域で活躍する人間性豊かでリサーチマインドを持つ歯科医師をはじめとした高度専門職の養成と先端的な歯科医学・医療の研究・開発など革新的な研究を推進し、中国・四国地区の歯科医学・口腔保健、福祉をリードする拠点として存在感を示して

きました。

高齢社会を迎えた今、歯科医療は、医療、福祉、行政との連携が必要不可欠となっています。そのため、歯学部では、時代のニーズに沿って多職種協働ができる感性豊かな歯科医師の育成、歯科医学発展のために指導的な人材、保健医療・福祉に貢献する専門職の育成を教育目標に挙げています。

また、グローバル化に対応して、東南アジア・南アジア・オセアニアや福祉大国であるフィンランドの大学と協定を結び、学生や教員の派遣、受け入れを積極的に行い、同地域の歯科医学の発展にも貢献しています。

これらのことを踏まえ、研究・教育・臨床・地域貢献において、教職員が一丸となって特色ある歯学部を目指したいと思えます。

学生の皆さんへのメッセージ

最近、様々な医療・医学研究にまつわる不祥事が新聞紙上を賑わしています。このため、今、医療

人・研究者に求められているのは、

高い倫理観をもったプロフェッショナル(スペシャリストとは異なる)としての自覚です。学生生活では、社会人としての広い視野と医療についての知識をしっかりと学ぶことは当然のことながら、医療人・研究者としての「心構え」・「心」も是非、身につけて下さい。周りを見回せば、良きロールモデルがきついているものと思います。

Q&A

教えて! 河野先生

- 趣味・特技は何ですか?
推理小説を読むこと、最近再開した写真撮影
- 好きな映画は何ですか?
「雨に唄えば(Singin' in the rain)」(1952) ジーン・ケリーとフレッド・アステアが土砂降りの雨の中で、主題歌を歌いながらタップダンスを踊る場面は忘れられない。
- 子供の頃になりたかった職業は?
船の設計士(戦艦や潜水艦が好きだったので、いつかは巨大な船を作る職業に就きたかった。今は患者さんの入れ歯を作っています。)



徳島大学薬学部において育成したい人材、 インタラクティブYAKUGAKUJINについて

冒頭、聞きなれない「インタラクティブ YAKUGAKUJIN」という言葉を掲げさせていただきました。徳島大学薬学部が育成を目指している人材像です。薬学部に入学された皆さんは、薬学部≒薬剤師、職場は薬局、病院とイメージされる方が大半ではないでしょうか。薬学部卒業生には皆さんが想像している以上に多彩な未来が待ち受けています。企業において新薬の基礎研究や開発、そして官公庁において薬事行政に携わる人材、さらにはテレビドラマで登場する「科捜研の〜」や「麻薬取締官」のような人材の多くも薬学部出身です。また、医療経済分野にも薬学出身の人材が必要とされています。このように薬学部卒業生には多様な進路があり、薬物に関わる広い分野に人材を輩出するのが国立大学薬学部で課せられたミッションと考えています。そこで、徳島大学薬学部が育成したいとしている人材である「インタラクティブ YAKUGAKUJIN」は、

「職種にかかわらず薬学における各領域を充分理解し、社会あるい

は他分野との広範かつ密接な連携構築と未踏分野開拓が可能な、高度な専門性を有する人材」と定義

しています。福祉健康分野の経済や財政にあたる影響は、飛躍的に増大しています。また、製薬・医療産業は経済成長の牽引車となるものと、その発展が期待されています。大きく変化する社会情勢を反映して、「インタラクティブ YAKUGAKUJIN」の活躍現場は、予想を超えた領域へ拡大すると考えています。様々な分野で活躍できる人材に分化成長可能な「インタラクティブ YAKUGAKUJIN」の育成を通じて、薬学の未来開拓に挑戦したい人材像として掲げさせていただきます。

学生の皆さんへのメッセージ

薬学部生だけでなく徳島大学で学ぶ皆さん、専門に限定されることなく、広い分野に対する知識と視野をもち、解決すべき課題に遭遇した時、豊富な知識と広い視野を最大限活用し、問題の本質を

Q&A

教えて! 大高先生

- 趣味・特技は何ですか?
読書、水泳
- 行ってみたい場所はどこですか?
地図を眺めていると、周りとの二次元的な、そして歴史も含めた三次元的な関係で「この、風土、歴史は……」と、空想が頭に溢れます。空想が掻き立てられるところ、すべてに行ってみたい。
- 好きな言葉は何ですか?
「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」米沢藩主上杉鷹山の歌と聞きます。小学生時代の恩師から教えて頂きました。

人と社会に貢献する科学技術をめざして



工学は、「数学と自然科学を基礎とし、ときには人文社会科学の知見を用いて、公共の安全、健康、福祉のために有用な事物や快適な環境を構築することを目的とする学問」と定義されています(工学における教育プログラムに関する検討委員会(1998年))。これまで我が国を支えてきた基幹産業は、厳しい国際競争の荒波にさらされるときに、国内的には少子高齢化に示される人口構造の変化や長期にわたる経済の低迷で、先行きの不透明感をなかなかぬぐい去れない状況です。こうした状況こそ、工学の定義や根源に戻り、様々な知識と俯瞰的な視野に加え柔軟な思考によりイノベーションを創出できる高度専門技術者、研究者の育成と輩出が重要です。社会のニーズを敏感にとらえ、人材育成に活かし、地域と国際社会の進展に寄与することが工学部の使命と考えています。

工学は、「数学と自然科学を基礎とし、ときには人文社会科学の知見を用いて、公共の安全、健康、福祉のために有用な事物や快適な環境を構築することを目的とする学問」と定義されています(工学における教育プログラムに関する検討委員会(1998年))。これまで我が国を支えてきた基幹産業は、厳しい国際競争の荒波にさらされるときに、国内的には少子高齢化に示される人口構造の変化や長期にわたる経済の低迷で、先行きの不透明感をなかなかぬぐい去れない状況です。こうした状況こそ、工学の定義や根源に戻り、様々な知識と俯瞰的な視野に加え柔軟な思考によりイノベーションを創出できる高度専門技術者、研究者の育成と輩出が重要です。社会のニーズを敏感にとらえ、人材育成に活かし、地域と国際社会の進展に寄与することが工学部の使命と考えています。

学生の皆さんへのメッセージ

大学時代は人生の中でもとりわけ貴重な期間です。可能な限りアルバイトを減らし、自分自身への投資の期間と考えて、大いに学び、友人と親交を深め、読書や旅をし、様々なことを考える期間としてほしいと思います。個人の体験となりますが、サークルの友人や日本

Q&A 教えて! 河村先生

- 趣味・特技は何ですか?
合唱、音楽鑑賞、サイクリング
子供の頃から合唱が好きです。大学時代に皆川達夫先生のたった1回のご指導で、中世・ルネサンス音楽のとりこになりました。
- 行ってみたい場所はどこですか?
モン・サン・ミッシェル、マチュ・ピチュ
人々の敬虔な思いが溢り上がった場所と天空の都市を訪れてみたいです。
- 好きな映画、音楽、芸能人、スポーツ選手等は?
好きな映画: プラザーサン・システム(画面が美しくドノヴァンの音楽に心が洗われました。)
好きな音楽: ヨーロッパの古い音楽(珠玉の音楽の宝庫です。)

史専攻の先輩と毎晩のように飲み語り合ったこと、夏休みに貸本屋で文庫本や漫画本を大量に借り昼夜の別なく読んだこと、奨学金の多くを専門書にあてたり、著名研究者の講演聴講やLPレコードにあてたことなど糧になりました。



アメリカの歴史から学ぶ「自由」と「平等」

大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス 基礎科学研究部門 准教授 吉岡 宏祐 (よしおか こうゆう)



戦後の日本人にとってアメリカの、とりわけ白人の広い庭に大きな家、というハイソサエティな生活は、テレビドラマや映画越しに見る憧れでした。しかし同時に黒人使用人といったイメージがあり、21世紀に入ってもなくなり

ない根強い人種差別による事件は、後を絶ちません。アメリカの歴史において、この人種問題(特に黒人)は重要かつ歴史的事実として深い陰を落としています。 吉岡先生の「アメリカ史研究」

の授業では、アメリカン・ドリームといった側面ではなく、現代まで深く根を張った問題が扱われます。 「現代史と言っても、奴隷制度や公民権運動といった過去の歴史から検証していかなければならないし、自由や平等と言った未来を見据える上でも、人種問題は避けることはできません。この重いテーマを日本の現代の若者に、自分に無関係ではない問題として、どう考えてもらえるか。工夫のしどころです。」

授業には、他人は自分とは違った考え方をするのが当たり前と認識し、そこでどのようにお互いが歩み寄れるかを考えられるようになってくれたら、との思いがあります。 「アメリカ合衆国の黒人英語に『ストリート・スマート』と『ブック・スマート』というスラングがあります。前者はストリートにおける経験から得られた知識を、後者は書物から得られた知識をそれぞれ意味する言葉です。大学生生活では、両者を接合することによって、日常における様々な事象を多角的かつ複眼的に分析する力を涵養(かんよう)水が染み込むように、自然に無理のないようにゆっくりと養育(やしよく)していただけたら幸いです。」

